

# 石川自治センター だより

第179号

発行所：石川自治センター  
発行者：石川自治センター長 矢内陽介  
〒963-7859  
石川町字南町 36  
Tel 26-1554 (FAXも同)

## 石川地区自治協議会部会開催



17日、自治協議会議矢内会長挨拶

17日石川地区自治協議会設立後(12月20日設立)初の会議が石川自治センターで開催された。協議会役員及び部会長・副部会長、役場、自治センター12名が出席して行われた。矢内会長より、「協議会設立にあたり、ご支援

を頂き感謝申し上げます。自分の住んでいるところを良くする為に、今後ともご支援、ご協力を賜りたい。」と述べた。

協議事項では、福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)について話し合いが行われた。緑川係長から事業についての目的、他の説明があった。目的は、地域住民のソフト的なコミュニケーションを取り、お互いの共通課題を共有する為のイベント開催等をした。子供(小・中学生)や若者を交えてイベント開催したいと説明した。事業年度は、令和6年4月と令和9年3月迄の3年間の予定となる。各部会で課題となっている事業を共有し問題解決事業として取り組む提案等がなされた。その他として、地域自治協議会活動のシンボルとしてスタッフジャンパーやベストの作成等の意見があった。次回、広く意見を聞くために継続協議として合同部会会議を開催することを決定し閉会となった。

25日・26日の両日、自治センターにおいて合同会議が行われた。25日は、福祉部会・生涯学習部会合同会議、役員他13名が出席して行われた。福祉部会では、①高齢者になった時必要な介護保険・財産相続・



25日福祉部会・生涯学習部会

福祉他に関する講習会。高齢者見守りシステムを構築する。連絡体制、認知症サポート講座「安心して俳諧出来る町」他の開催。受講者は、一般及び高校生。小・中学生は、認知症図書(本)を置き授業に取り入れる他、認知症の勉強会を年代を超えて学ぶ勉強会を行う。②買物



26日まちづくり部会・地域安全部会

支援他。移動販売車による日常生活必需品の販売支援。一人暮らしの草刈り作業や子供達通学路雪はき。サロンや買物支援の配車サービス。高齢者と子供達のチャンバラ大会。石川地区で集団で出来る盆踊り大会。生涯学習部会では、桜まつりと桜フェスタ連帯強化。桜まつりプロジェクトシンマツピング。東京荒川区まつりの参加。健康増進の為の各種大会開催(ボッチャ・eスポーツ・歩こう会)石川鉱石を知る会他。

26日は、まちづくり部会・地域安全部会合同会議役員他14名が参加して行われた。まちづくり部会では、花いっぱい運動。重謙屋敷へサツキやつじの花を植える。簡易的なドックラックの設置。桜をベースにした商品づくり・桜カラオケ大会・桜まつり外部への宣伝強化。昔石川でしたことがある踊り流しの実施他。犯罪防止の為の防犯カメラの設置他。地域安全部会では、①自治協議会の各部会が活動する時に着用する自治協議会ロゴ入ベスト(裏面へ)

又はジャンパーの作成。②石川町内には危険な場所(交通・防犯・消防)が多数ある。そのような場所での危険予知となる行為をビデオ撮影して交通安全教室等で子供や大人に見てもらう。(例、商業施設等の駐車場、朝の通学路や空家等)③自治協議会の地域安全部会の活動を知ってもらうためにPR活動として、桜まつりオータムフェスタ他イベントに参加する。パトカー・白バイ・消防車等の展示と子供と親と一緒に出来る。クイズやゲーム。プロドライバの助手席に乗ってドリフト体験。④小学校近くの横断歩道に「止まれ」シールを貼る。⑤自治協議会ではかたくるしいので名称公募。⑥防犯・消防等の標語募集。⑦盆踊りの復活(旧役場跡地。)以上。今後、各部会からの案を検討し、サポート事業に繋げる事となります。(地域を元気にするために住民の皆さんが主役なうて行う地域の特性を活かした個性と魅力ある地域づくり事業です。)福島県ホームページより。

石川地区自治協議会が昨年12月20日に設立され、設立記念品を石川地区の全世帯に配布しております。受領してない世帯の方は石川自治センターにてお渡ししております。

## 生涯学習活動(レディース・寿大学・ものづくり)

レディース猫啼(小豆畑ケイ子)委員長は、18日西田屋(猫啼)で令和5年度閉講式を11名が出席して行った。今年度事業報告では、移動研修や自主事業他6回(文化祭展示は除く)行われた。文化祭展示の竹灯籠作りが思い出に残った様でした。次年度事業計画についても話し合いが行われた。レディース猫啼は、桜ヶ丘学園や県立養護学校交流会と地域活動にも貢献しています。



レディース猫啼閉講式。挨拶御礼の言葉を述べる矢内センター長

レディース外楨(水野昭子委員長)は、23日王子平集会所において、令和5年度閉講式を8名が出席して行われた。事業報告では、移動研修2回自主学習他7回が行われた。ものづ



レディース外楨閉講式。挨拶御礼の言葉を述べる矢内センター長

くり体験では、以前に制作した一閑張りの張替え時期の為、手漉き和紙体験を行った。次年度計画では、ものづくり体験を中心に事業計画を立てる様です。

石川寿大学(鈴木芳幸委員長)は、16日1月学習会を石川自治センターで行った。学生32名(男性6名・女性26名)が参加した。昨年に続き、菊池三知男氏を招き学習会を行った。「町政を聞く」をテーマに行われたが、頭の体操や認知機能アップ体操を合間に入れながら、分かりやすい言葉で講話をして頂



きまして頂きました。歴史民俗資料館認定こども園・道の駅他について、資料を基

に説明をされ学級生も真剣に聞き入っていました。お忙しい中、有難うございました。

新田寿健康大学(小豆畑幸司委員長)は、18日新田ふれあいセンターで1月学習会を16名が参加して行われた。冬場の健康増進を目的に室内運動として、クオリティとスカットボールを17名(男性7名・女性10名)が参加して行われた。1ヶ月振りの再開に笑顔が溢れていた。各2回づつ合計で競い合った。「一球ごとに歓声が沸き賑やかに進んでいた。満員になる斎藤さんが指導しながらプレイする姿もあった。成績は、優勝芳賀節子・準優勝大竹キイ第三位川島悦子さんでした。



川島・芳賀・大竹

24日自治センターで「自然素材を活かしたものづくり講座」が行われました。6名の生徒が参加しました。

ものづくり工房「くっぺー」が2月1日より再開されます。藤手芸・粘土・リフォーム教室。尚、手織り・K人形教室は、1月中旬より再開していただきます。

### 2月度行事予定\*諸般の事情により日時等変更になる場合もあります。

日	曜	行事予定	備考
2	金	いしかわ桜谷スプリングフェスタ 2024 会議 10:00	モトガッコ
7	水	学石ものづくり講座 16:00~	自治センター
14	水	学石ものづくり講座 16:00~	自治センター
15	木	新田寿健康大学学習会・閉講式 9:30~	新田ふれあい
20	火	石川寿大学学習会・閉講式 9:30~	自治センター